

4

百日咳^{せき}

せきが治まるまで約百日かかる

1 病原体名

百日咳菌^{せき}

2 年齢層

乳児～子供～成人

3 潜伏期間

7～10日

4 症状とケア

- ✓ 小児はせき、くしゃみ、鼻水などの風邪の症状で始まり、約2週間続きます。熱はないか微熱で、その後、コンコンという激しいせきが出たり、息を吸う時にヒューと音が出る期間が2～3週間持続します。回復期に入ると2～3週間で次第にせきが減ります。
- ✓ 成人は特徴的なせきはあまり見られず、ふつうのせきが続くだけのことが多いです。
- ✓ 特徴的なせきが消失するまで、又は5日間の抗生物質治療が終了するまでは学校へは出席停止です。



5 診断と治療

- ✓ 小児は典型的な症状から診断します。
- ✓ 抗生物質は、早期に投与されれば有効です。医師の指示通り、最後まで飲み切りましょう。
- ✓ のどの症状への対症療法を行います。

6 家庭に持ち込まないために

- ✓ 感染経路は、飛まつ感染と接触感染です。病原体は、せきが始まってから約3週間、せきやくしゃみの中に出ています。
- ✓ ワクチンが有効です。定期接種でジフテリア、破傷風、百日咳^{せき}、ポリオ等の5種混合ワクチンを接種します。
- ✓ 日頃の石けんによる手洗いやアルコール手指消毒、せきエチケットが大切です。

7 家庭で広げないために

- ✓ 予防接種前の新生児は重症になりやすく、主に家族が感染源となります。熱がなくてもせきが長引く場合は、早めに受診しましょう。

